

■光ディスク標準化部会

概要

光ディスク標準化部会は、光ディスク関連技術の標準化を専門とする標準化グループであり、国内規格の原案作成、関連技術動向の調査研究等を主な活動目的としている。

部会は2023度まで、光ディスク標準化部会を親部会とし、その下に機能別の2専門部会（光ディスク媒体の物理規格及び信頼性評価等を担当するメディア専門部会と、論理フォーマットに関するフォーマット専門部会）を置き活動してきたが、光ディスクの技術及び製品開発が成熟期を迎えて久しいことから、より効率的に活動を進めるため、2024年度は2専門部会を光ディスク標準化部会に統合し、光ディスク全般の標準化及び調査研究活動を行った。

標準化活動については、JIS原案の作成を進めるとともに、これまで光産業技術振興協会で作成したJISについて、原規格となる対応国際規格の更新状況等を確認し、メンテナンス表を更新した。

調査研究では、光ディスクを中心とした光メモリの将来技術動向調査を実施したのに加え、国際標準化動向調査を実施し、光ディスクユーザに対する最新情報の提供を行った。

部会開催予定

（数回/年度 開催予定）

（順不同）

参加メンバ
大阪産業大学
バイオニア株式会社
株式会社 日立製作所
電気通信大学
経済産業省
一般財団法人日本規格協会
パナソニック ホールディングス株式会社
（他4名）